

平成 27 年 1 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社アクトコール
 代 表 者 名 代表取締役 平井俊広
 (コード番号：6064 東証マザーズ)
 問 い 合 せ 先 専 務 取 締 役 菊 井 聡
 電 話 番 号 0 3 - 5 3 1 2 - 2 3 0 3

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 26 年 10 月 9 日に公表いたしました平成 26 年 11 月期（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 当連結業績予想数値と実績値の差異（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	連 結 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 2,838	百万円 77	百万円 47	百万円 △39	円 銭 △31.85
今回実績値 (B)	2,815	66	73	△1	△1.36
増 減 額 (B-A)	△22	△10	26	37	
増 減 率 (%)	△0.79	△13.10	56.55	—	
(参考) 前期連結実績 (平成 25 年 11 月期)	1,956	98	72	23	18.77

2. 差異が生じた理由

売上高及び営業利益におきましては、不動産賃貸業界向けの駆けつけサービス、及び家財保険や家賃収納機能を付加した複合サービス（入居者総合補償サービス）が計画を下回り、他のサービスでの挽回、販売費及び一般管理費の抑制、及びコールセンターでの原価低減などを図ったものの、前回予想を若干下回る結果となりました。

経常利益につきましては、鹿児島コールセンター設立に伴う助成金収入 29 百万円があったことにより、業績予想を上回る結果となりました。

なお、経常利益に対して当期純利益が大幅に減少している理由は、「所得税法等の一部を改正する法律」（平成 26 年法律第 10 号）が平成 26 年 3 月 31 日に公布され、平成 26 年 4 月 1 日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないことに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に

使用した法定実効税率が低下したためです。すなわち、平成 26 年 12 月 1 日から開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異につき、従来の 38.1%から 35.7%に変更されたため、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は 23,699 千円減少し、法人税等調整額が 23,775 千円増加いたしました。

※ 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定な要素により、実際の実績と異なる場合がありますのでご了承ください。

以 上